



ロータリー：
変化をもたらす

越谷南ロータリークラブ

会 報

第2154回
2018.6.28

赤松会長テーマ：ひかり射し込む 会運営 みんなと共に

【点鐘】

赤松・石川年度 最終例会 於砂場

【会長あいさつ】

赤松会長



会員各位におかれましては、私並びに石川幹事の最終例会にご出席を賜り誠に感謝の念に堪えません。石川幹事が100%以上のパワーにて私を支えてくださったにも関わらず半面私はその期待に応えられず幹事並びに会員各位には多大な失望感を与えてしまったと反省しておりますが、この反省を次年度以降に必ずお返しいたします。

さてお許しを頂き 私事で有りますが、この二年間に40年を共にした家族を失い失意のどん底にあった私が今日最終例会を迎えることができなんと果報者との言葉しかありません。私を今日まで支えてくださったのは、勿論全会員の励ましの他にありませんが、その中で、石川幹事存在が300%以上を占めております。昨年6月1日瀬尾拓也会長年度の最終理事会が開かれました。私はその席にて会長に妻の状態を説明し11時30分に中座を許され病院に向かいました。電車が西新井を通過した時、メールが届きました。

それは石川幹事さんよりのメールでした。内容は赤松会長エレクト、俺は会長の女房だ。次年度へ向けての準備は何も心配をしなくて良いからと一早く奥様の側に行き付き添って下さいと。——私は読んだとたん電車の中で処構わず大粒の涙が流れ号泣していました。

なんと温かいメールと言葉を、精一杯の励ましの言葉を石川幹事はくれたのか。

私はこの一年間 この言葉を心の中で繰返し、思い浮かべて挫折することなく今日と言う日があるのです。昨年12月に新しい家族と生活をしておりますが、これは亡き家族が私を心配して、私に与えたと確信しています。会員の皆様 次年度は3日後よりスタートします。

クラブより大熊進 ガバナー補佐を排出し、更には小林光藏実行委員長采配のもとに45周年式典が開催されます。皆さん これらを成功させるには、全員が団結して、荒井会長、中村幹事を支えることで成しえるものです。どうかよろしく願い申し上げます。

【幹事報告】

石川幹事



幹事拝命を受けてから1年、長く感じた事もありましたが、今思えばあっという間に過ぎた感じがします。赤松会長がエレクトに決まってから不幸があり、会長になられてからも奥様を亡くされ、私も年度始まる直前に仕事での右腕だった弟が独立して、仕事と幹事の大役を全う出来るか心配の中、赤松会長年度が始まりました。幹事を受けたからには、何とでも責務を果たす覚悟で赤松会長と共に、この1年自分なりに頑張ったつもりです。何とか幹事としての任が無事終わる事ができるのも各委員長と会員の皆様のご協力のおかげです。56歳のこの年になって、このような貴重な体験ができたのもロータリーアンになれたおかげです。一年間ありがとうございました。 2017～2018 幹事石川勝利





